

研究室訪問・意見交換会②（熱帯医学研究所）

5月8日（月）医療班の代表生徒21名が長崎大学熱帯医学研究所を訪問し、橋爪真弘教授との意見交換会を行いました。前半は橋爪教授から「地球温暖化と健康影響」についてご講義いただき、豊富な資料とご自身のご経験に基づくご説明を、生徒たちはメモを取りながら一生懸命聴いていました。自分たちが思っている以上に、温暖化が健康に影響するということを知り、衝撃を受けたようでした。後半は、生徒からの質問に回答していただいたのですが、質問が多すぎたため、全体会が終了した後も生徒たちは長蛇の列を作って質問や相談をおこなっていました。最終的に予定を1時間オーバーして終了となりましたが、生徒たちからは、「自分たちの設定しているテーマが大きすぎることがよくわかった。アドバイスを基に再考したい。」「温暖化の視点はこれまでなかったが、先生のお話を聞いて興味が出てきた」との声が聞かれました。



研究室訪問・意見交換会③（多文化社会学部）

5月8日（月）平和班の代表生徒8名と水班の代表生徒6名が、長崎大学多文化社会学部を訪問し、森川裕二教授との意見交換会を行いました。はじめに、森川教授から研究の仕方や、東南アジアの国際関係について説明していただき、「平和」の定義についても考える機会をいただきました。その後、生徒からの質問に答えていただきながら、ご助言いただきました。「争いの原因は貧困にあるのでは」という質問に対しては、「過去の事例を1つ選び、そこから立場や利害関係を軸にまとめていくと、貧困以外の要因も見つかるはず」といったご指摘をいただきました。生徒たちは、「具体的に調査の方法を教えてください、非常に勉強になった」「自分たちの考えている方向性が間違っていないことが確認できた。今後研究を深めていきたい」などの感想が聞かれました。

